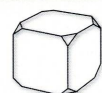


# DATA FILE



等軸晶系

|      |                                                                     |
|------|---------------------------------------------------------------------|
| 名前   | LAPIS LAZULI (ラピスラズリ) / 瑠璃                                          |
| 化学組成 | $\text{Na}_3\text{Ca}(\text{Al}_3\text{Si}_3\text{O}_{12})\text{S}$ |
| 色    | 青色                                                                  |
| 光沢   | 樹脂光沢～ガラス光沢                                                          |
| 蛍光   | なし                                                                  |
| 条痕   | 青色                                                                  |
| 劈開   | 不明瞭                                                                 |
| 断面   | 不規則                                                                 |
| 硬度   | 5.5                                                                 |
| 比重   | 2.4                                                                 |

※化学組成以下のデータは、ラピスラズリの主成分であるラズライトのデータを掲載しています。

# ラピスラズリ

## LAPIS LAZULI

古代から「瑠璃」の名前で知られており、粉末にして顔料とされたり、磨いて装飾品として使われていた。

多くは濃青色で、青色が濃いものほど高価とされている。

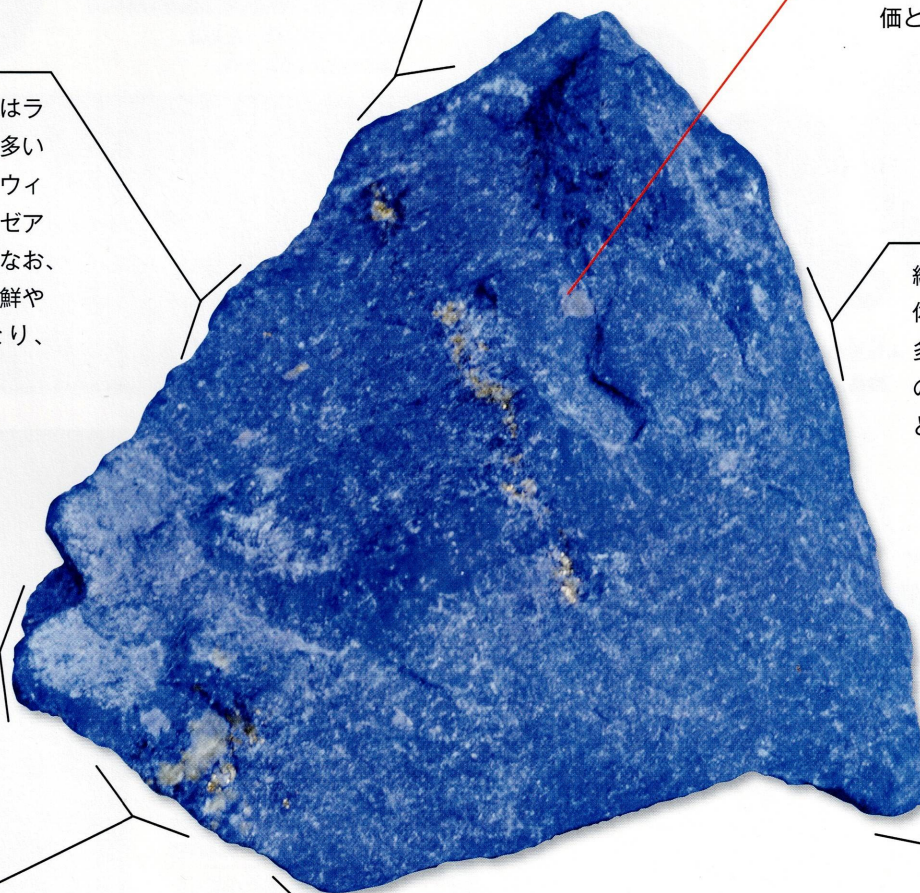
ラピスラズリの主成分はラズライトであることが多いが、同じグループのアウィン、方ソーダ石、ノーゼアンを含むことがある。なお、黄鉄鉱が含まれると、鮮やかな青色と金色となり、「青金石」と呼ばれる。

マグマと岩石の接触作用によってできた鉱床において、黄鉄鉱や方解石と一緒に産出することが多い。

「ラピス」はラテン語で「石」、「ラズリ」はペルシャ語で「群青」を意味している。

劈開は不明瞭で、素焼きの陶板にこすりつけると青色の条痕が残る。

青い色をつくるラズライトは、金属元素のナトリウム、カルシウム、アルミニウム、硫黄で構成されたケイ酸塩鉱物。天然のラズライトは光沢がにぶいが、磨いたものは美しく輝く。



結晶は塊状の集合体をつくることが多いが、十二面体の結晶形を示すこともある。

ラ

# ミネラルファイル

## ケイ酸塩鉱物

### 装身具やお守りとして珍重された宝石

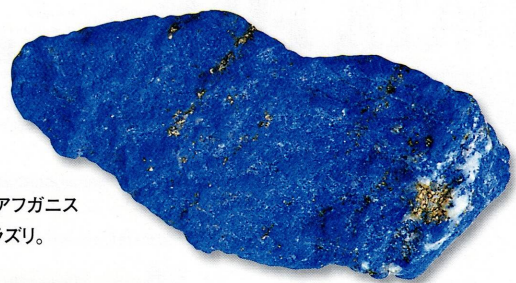
ラピスラズリは大昔から装身具や魔よけのお守りとして珍重されており、古代エジプトのツタンカーメン王の墓も群青色のラピスラズリで飾られていた。また、ラピスラズリをくだいてつくられた顔料も、古くから絵画などに使われていた。現在はカボション・カットにされることが多いが、劈開や断口などの性質が違ふ複数の鉱物からできているので、カットリングはとても難しい。

「濃い青色（群青色）」を意味する英語は「ウルトラマリン」であるが、その語源はラピスラズリと非常に深い関係がある。「ウルトラマリン」という言葉のもともとの意味は「海の向こうから」であり、最初に発見されたアフガニスタンから、はるかな海を越えてやって来たラピスラズリの色が群青色だったため、そのような言い方になったといわれている。

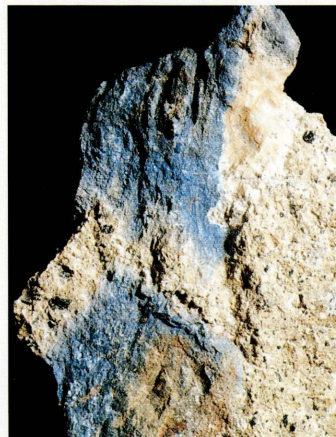
## ラピスラズリ



▲勾玉の形をしたラピスラズリの装飾品。



▶濃い青色をしたアフガニスタン産のラピスラズリ。



▲イタリアで見つかった火山岩に含まれるラズライト。

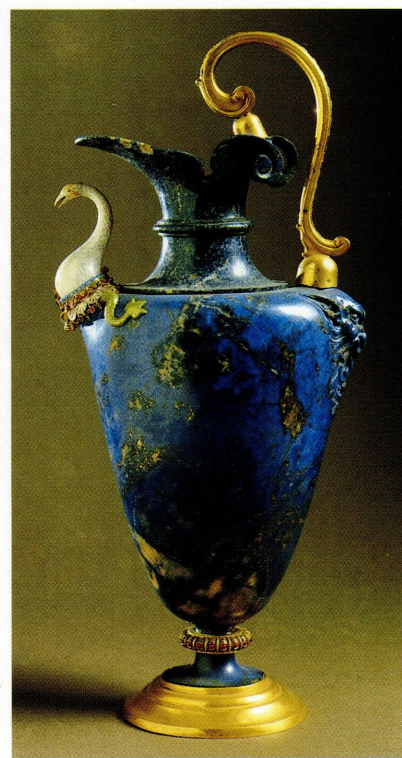
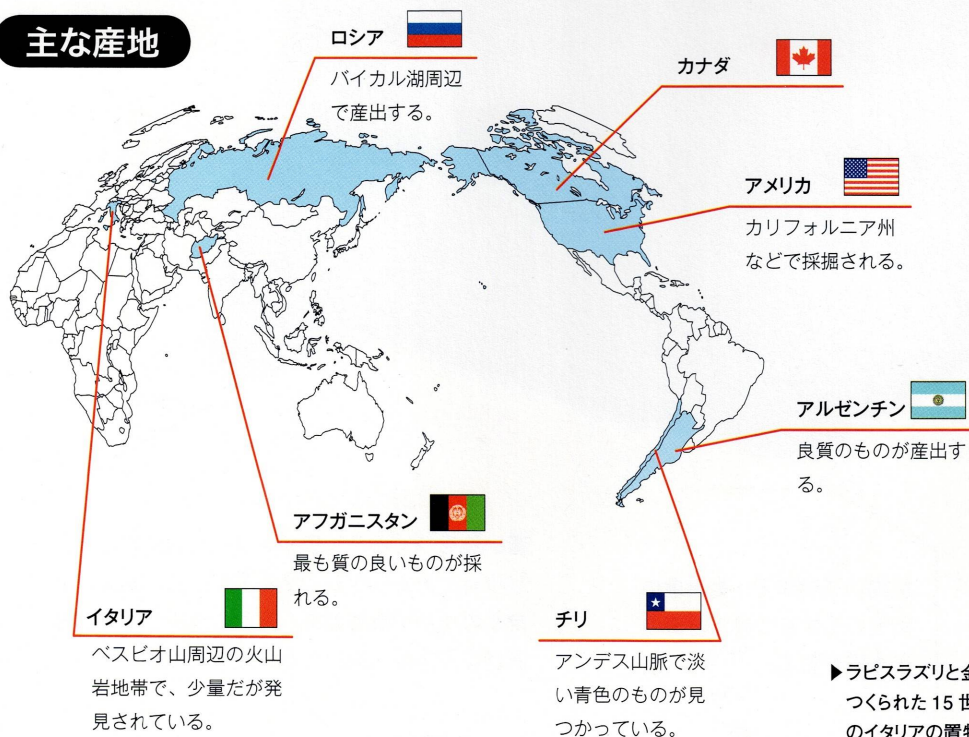


▲イラン産のラピスラズリ。

### ラピスラズリの模造品

ラピスラズリには模造品も存在し、代表的なのが、碧玉の表面を青く着色したもの。また、表面に白い斑点があらわれたラピスラズリは価値が低いため、パラフィンをしこませて、人工的に青く染めることがある。

### 主な産地



▶ラピスラズリと金でつくられた15世紀のイタリアの置物。